昭和30年6月23日
第三種郵便物認可
磐城日日
夕刊（除日曜）　第1358号

夕刊
磐城日日
発行所
磐城日日新聞社
福島県磐城市渚廻5-1
電話387番
編集兼発行人　清村　樫

水産高校の地元寄附・目標三百八十万圓

多年懸案の小名浜水産高等學校の新築移轉問題は既報の如く愈々年度内に實現の曙光を見るに至つたので、全校新築期成同盟會が中心となり、地元寄附金を募集する事になつた。

このため全會では役員會を昨二十七日午後一時より市役所會議室に於て開き、新築移轉費の一部として、地元の市町村關係及會社、團体、商店より募集する目標額を協議し寄附割當を左の如く決定八月一日より募集を開始する事になつた。

▼市町村関係
磐城市四〇〇、〇〇〇円
平市二〇〇、〇〇〇圓、

多樂市一五〇、〇〇〇円
一般漁業者（個人）五〇〇、〇〇〇圓、北洋各組合五〇〇、〇〇〇圓、後援會三〇〇、〇〇〇円、計三、七六〇、〇〇〇圓

▼會社、工場、商店關係
常磐炭砿一〇〇、〇〇〇円、古河炭砿三〇、〇〇〇圓、吳羽化學一〇〇、〇〇〇圓、日本水素一〇〇、〇〇〇円、臨港鉄道五〇、〇〇〇円、常磐交通五〇、〇〇〇圓、民衆産業五〇、〇〇〇圓、東北ドック五〇、〇〇〇圓
三崎問屋三〇、〇〇〇圓
地元油店三〇、〇〇〇圓
地元商店二〇、〇〇〇圓

海水浴場の環境整理

本格的夏となり、小名浜には連日各地方からの浴客が海水浴場を賑わして居るが、觀光的立場から海水浴場の砂場に、わかめ等の海産加工品を干さないことに市商工課と打合せを行つたが、今日も浴場の砂場にわかめが干してあり、浴客のしんしゃくをかい、當局者の善處方を要望されていた。

中の作漁業協組理事長吉田義氏

磐城市中の作漁業協同組合では昨二十七日午前九時から第四回総回を同組合で開催、九項目よりなる議案を提出、滿場一致で決定した。

なお理事、監事の選擧を行つた結果次の通り決定した。

理事長　吉田　義
理事　吉田　喜好
〃　和深　七郎
〃　吉田　金司
〃　田村　雄次
〃　新妻　豊
監事　作山彌一郎
〃　松本　茂

社会を明るくする青少年問題座談会

磐城市では二十九日午前九時市役所会議室に於て青少年問題協議會が中心となり社会福祉事務所長、警察署長、司法保護會長、民生委員連絡協議会長、婦人連合会長等と市内高中、小學校生徒代表各一名の出席により青少年問題について座談會を行うことになつた。

これは青少年問題を通じ「社会を明るくする」運動の一環で、社會秩序の安定と經濟の向上を圖る青少年問題協議會が中心には地域社会を中心にして、自主的な犯罪防止活動を展開すると共に、矯正と厚生保護の機關が市の物心両面の強い協力を得て犯罪者の円滑な社会復歸を促進することによつて犯罪の不安のないよう明るい社会の建設に資するものである。

海水浴は川と海と山の剣浜へ

売店　うどんや商店
（汽車毎にバス運行）

人事往来

▼磐城市議會長瀬議長、江尻副議長及び加瀬事務局長は縣下議長會議出席のため本日出縣した。

▼磐城市立花市長は工場誘致の関係で本日上京した。

天氣予報

「今晩」南風晴れですがよいのうちは雲が多いようです。

「明日」南風だいたい晴

山ぞいでは午後から晩にかけ雲が多くなり、にわか雨のあるところもありましょう。

「海上」今晩も明日もおだやかでしよう、

潮流

土用三日照れば稲作は大丈夫と云われているが、今年は連日のうだる暑さで時々にわか雨豊年滿作疑いなしとあつてめでたい限りだが、お陰で浜もまた超滿員、ゴツタ返す賑やかさだ。

小名濱海岸は毎日万余の人出、昨日丑の日は二万五千と云われ、各出店は轉手古舞を演じていた。

こうした雑踏さだから脱衣場にもいろ〳〵の間違いも起きると見える。

福島亭に休んだ上好間の本間良介さん、席料に五百圓札を出すと程經て二〇圓のおつりを渡された席料は大人四〇円小人二〇圓で、本間さんは子供二人をつれていたから計八〇円。渡した札は五百圓だと主張する本間さん受取つたのは百円札だと云い張る女將さん。

双方水かけ論でらちがあかずとのつまりは海水浴場派出所の猪上巡査の御世話になつた。

本間さんは六百三十円を持つて家を出た、途中のバス賃と子供のキャラメルを買つたから手許には五百円札一枚と小銭わずかしかなく百円札は一枚もないから出す筈がないという。

福島亭では厭くまで百円札だと頑張る。

困り切つた猪上巡査、どちらがほんとうか判断するわけにもゆかず、名判官大岡越前守の故知に倣つてか、鶴島亭から百圓を本間さんに返し、本間さんにつり銭として渡した二〇円を戻して席料は只、これでケリがついたもののこの名判決にも本間さんは納得出來ぬ顔だつた。

この五百円札果して何處に飛んだか？神のみぞ知るにあらずして知る人ぞ知るであろう。

街のダニ逮捕さる

磐城市宇古港小野雄一（二五）は去る六月三日午後六時頃、市内橋本不二スマートボール遊技場で遊技中の客人に因縁をつけて暴行し、また同店席料は大人四〇円小人二〇圓で、本間さんは子供二人をつれていたから計五百圓札を出すと程經て二〇圓のおつりを渡された席料は大人四〇円小人二〇圓で、本間さんは子供二人をつれていたから計八〇円。渡した札は五百圓だと主張する本間さん受取つたのは百円札だと云い張る女將さん。

双方水かけ論でらちがあかずとのつまりは海水浴場派出所の猪上巡査の御世話になつた。

本間さんは六百三十円を持つて家を出た、途中のバス賃と子供のキャラメルを買つたから手許には五百円札一枚と小銭わずかしかなく百円札は一枚もないから出す筈がないという。

福島亭では厭くまで百円札だと頑張る。

困り切つた猪上巡査、どちらがほんとうか判断するわけにもゆかず、名判官大岡越前守の故知に倣つてか、鶴島亭から百圓を本間さんに返し、本間さんにつり銭として渡した二〇円を戻して席料は只、これでケリがついたもののこの名判決にも本間さんは納得出來ぬ顔だつた。

この五百円札果して何處に飛んだか？神のみぞ知るにあらずして知る人ぞ知るであろう。

文化團体の近況 ⑥

『日曜畫家クラブ』①

会長　森　寿

〝日曜畫家〟とは一体どう云う絵かきだらうと思われる方が居りましたなら、私は即座に「貴方ですよ」と答います。その名は素人画家即ちアマチュア畫家だからです。

人間は誰にでも描く慾望があります。その中の本當に絵の好きな人達がつて現在は二十余名になりました。その後兒童美術の發展と兒童の美術愛好心と美的情操の育成の爲にジュニアー部なる少年画家クラブを始め、日曜圖画教室を開いて毎日曜指導致して居り現在六十余名の多数の少年少女画家が美しい作品を描い

昭和二十九年二月にお互の趣味と美しいものを愛する心に結ばれて組織し発足したグループが日曜画家クラブであります。

当時五、六名の會員でしたが、その後熱心に絵を描き初めた方々も加わり現在は二十余名になりました。その後兒童美術の發展と兒童の美術愛申しますと。

一、費用を掛けないで、みんなで描きみんなで樂しむ庶民的な集り。

二、難かしい規則や堅固しいものをなくし誰でも自由に伸び進むこと。

三、絵の上手下手よりも描く樂しさを味い、自分の好きな個性に正直なるを描き、生活の中に美しいものを求め、育てて行くこと。

要は自由に澤山描いて居る中に、次第に樂しさを増し、上達もすることです。

当クラブの目的を申し

一、描く技術の向上と愛好心の増進を促る。

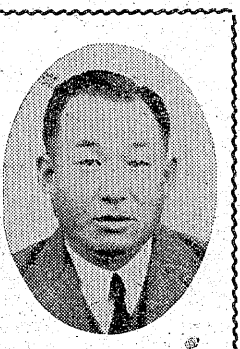
二、美術文化の向上振興に努め、社会と生活を明るくすること。

次に當クラブの性格をですから各會員が自由に伸び〳〵と樂しんで描くことをモットーに致して居ります。

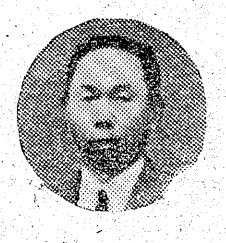
私達は上手な画家になるよりも、ゑを描くことによつて自然のあらゆるものに、一層深い愛情と觀察をそそぎ、美しいものを見つける毎に、喜び、樂しみを得ることをゑを描き、生活の中に明るさと豊かさを持たせ愛と美に包まれたうるおいのある生活を、人生を作りたいと願つて居ります。

暑中御見舞申上げます

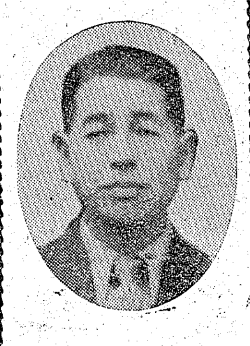
磐城市議会
港湾副委員長
水道議会運営委員
酒井源之助


磐城市議会
水道副委員長
文教委員
黒川亀雄

磐城市議会
土木農政委員
吉田祐忠


磐城市議会
工場誘致水産商工
議会運営委員
高木武士

磐城市議会
厚生副委員長
総務委員
及川正枝


磐城市議会
文教港湾委員
佐藤徳太郎

難行の北洋船主会
値下げ案に協調

豊漁に續く北洋サケ、マス漁業は本紙記載の樣に事態に對し二十六日午後すでに二十日付現在で、一時より平市水産事務所船籍を磐城市に置く独航に於て各船主會を開いた船の漁獲尾數合計で四七結果、各母船会社が提案〇万四二七三尾にも達して來て居る一獨航船当全國より十一縣が独航船り一、五〇〇圓以上漁獲を出しているが戰後この した船に對しては白鮭一尾一〇〇圓にし一、五北洋漁業が再開されて以〇〇万圓を割った場合に來本年は最高の漁獲高を ついては、そのまま一、示して居る。その爲市價五〇〇万圓にする。それがすでに暴落を示し、各以上出たものは会社案通母船会社は欠損の狀態なりにするといった提案にので、各縣に呼かけ、現付いては、出航前に漁價在白鮭一尾一二五圓を一について充分なる檢討した。〇〇圓に協定しなおし、て、兩者で協定したもの その欠損をカバーしようだから今更その樣な案にとして來たので、各縣水は同調出來ない、又本年産関係者（本縣船主三四豊漁なのは各船共に網の）はいろ〜〜論議して來規模を大きくして居るの た。で当然であるとして、十

磐城市関係漁業者は此の度を示して來た。然し地元より内地北洋漁業船合連合会長金成德治氏（江名）が又、縣北洋漁業組合參事吉田代氏（船主會の態度を決定した一縣の中で一番强硬な態 終業時の内容と照し合せて再檢討するという基本方針で進み、細目は金成德治氏等に一任するという事で離航して來た北洋江名）等が出て居るので昨二十八日東京東條会館で行われた全國會議では福島縣としての結論は一應母船会社の案には應ずる用意があるが、それは

歸途にマゴつく トラック満載の海水浴客

今日は今夏、最高の暑さ方面からの遠来の客、タクシーで乘りつける豪華版、東白川、川前、新町方面りよ三輪車、トラックの貸切り組もありうし昨日土用うしの日とあつて、小名浜は浴客二万五千人の人でうずまり、汽車もバスも、すし詰めの氣の毒な人々は、トラック超満員、内郷一中の銀輪部隊、貸切りバスで中通 暑を待って見事脱出に成功するものもあり、このうだる暑さにトラックに乘せた人の頭にシートを掛けて、本物の貸物扱に擬装したものもあった。

なると、交通取締りが嚴 しくトラック乘者は違反 とあつて、歸るに歸れず 窮余の一策で大原街道に 一団、二團とたむろし日 暮れ方全人は去る四月中 功するものもあり、このうだる暑さにトラックに乘せた人の頭にシートを掛けて、本物の貸物扱に擬装したものもあった。

賀郡磯原町の無職關辰之介（六二）を職業安定法違反容疑で取調中の處本日平地檢に身柄を送檢した。全町生れの中川ヒロ子（一八）を磐城市小名浜特飲街の梅の屋支店に紹介斡旋（紹介料の有無不明）した事が発覚摘発されたもの

海に溺れて救けられる

昨二十七日磐城市小名浜海水浴場は土用丑の日で浜はゴッタ返す賑いで、波も無い静かな海であつたが、常磐市笠井四金木勇さん（二〇）は海水浴場西の砂防堤で水泳中溺れたのを、附近に居た内郷市綴町秋山、常磐炭砿社宅内柴田忠三郎（四六）さん他三名の人々に救われ人工呼吸をほどこされて一命を助けられた。

人身売買で送検さる

磐城警察署では茨城縣多

魚菜市況

▼鮮魚　小名浜魚市場
さわら九〇〇—八五〇すずき七五〇—六〇〇そい四〇〇—四四〇小だい一〇八—一〇三、三陸送かつお三〇〇—二八〇
▲青果　中央市場
たまご一二—一一、五ねぎ八〇—四〇にんじん六〇—一二

照明コンクールに就て ③

東北電力KK平營業所
營業課長　蓬田守之助

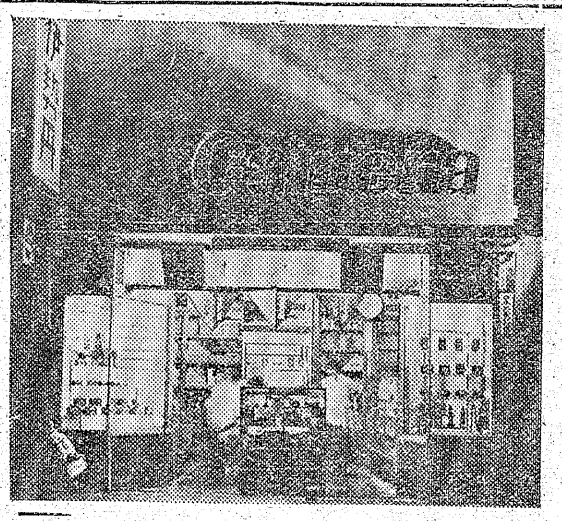
二　肉屋
天然螢光燈（桃色）及電球併用。
ホ　貴金屬店
電球及白色螢光燈、晝光色螢光燈、
ヘ　料理店
天然白色及他の各色螢光燈と併用。
ト　菓子店
天然晝光色及各色けいこう燈併用。
チ　靴店
天然晝こう色とスポット電球併用。

以上現在研究された商店しよう明であります。外に看板しよう明、及びショウインドー等のしよう明がありますが、之れは大きさ及び高さ等の関係から考いて見なければならないと思います。

結論

今回當市に於て催されたあつた事を特に申上げてしよう明コンクール參加置きます。

來年度にはより良きしよ心の程がしのばれ、特にう明を爲され御店の御繁優劣をつけかねる樣でど栄を心から御期待申上げれもこれも紙一重の違でて私の挨拶と致します。



才三位　伊勢丹カメラ店

努力賞　長山電気商会

今日の映畫案内!!
28日—30日
新東寶映画
悪魔のさゝやき
上原謙　中山明
筑紫あげみ　角梨枝子
総天然色映画
紫の平原
グレゴリイ・ペック
ウイ・ミン・サン
監督
ロバート・パリッシュ
松竹ユナイト共同配給
金星座

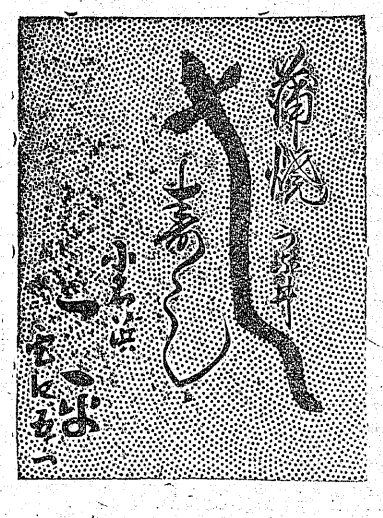
暑中御見舞申上げます
磐城市連合PTA
会長　鈴木嘉勝
副会長　酒井源之助
副会長　田子サヨ
外会員一同

小名浜海水浴脱衣場組合
たけや脱衣場　電話三〇六番
来々亭　電話一四五番
福島亭　電話五二四番
天狗　電話二八四番
一松　電話六〇八番
三笠

KK磐城協立青果市場
社長　菅原勳
專務取締役　佐藤貞吾
電話七九二番

盛夏の栄養は
金時のうなぎで
生ビール（ジョッキ）

速敏前出



譲電話
常磐市内
希望者は本社へ申込まれたい

富士工業株式會社
代表取締役　増尾孝介
平出張所　磐城市竹町二三
電話（磐城）七九四番
平市中町

暖房　冷房
給排水
給湯
衛生（水洗便所）
糞尿浄化槽
温ポ保
取付工事
修理サービス
設備
設備
設備
設備
設計施工

電氣工事と照明器具
吉田電気工業所
磐城市中鳥通り
電話八〇八番

生ビール
中華料理
ジョッキ

永華
磐城市小名浜電483
海岸の売店を御利用下さい